



人・夢・あかえ



find us on facebook



今号では、この赤江地域まちづくり推進委員会の令和5年度事業の活動報告を紹介します。

あんぜん部会

「災害救助資機材等設置」事業



赤江地域内の小中学校には、災害時を想定して救助用資機材や避難者用の備品等が保管してあります。平成25年度に設置して以来、毎年点検・交換・補充を行っています。今年は、点検及び使用期限切れの備品交換に加えて、新たに災害時用のトイレトイレットペーパーを備蓄しました。学校訪問時には、学校職員・宮崎市の担当職員にもご同行いただき、災害時の有効活用を相互で確認しました。また、赤江東中では16名の教職員の方々に参加され、貴重な意見交換等ができました。突然の災害時に役立つように今後も事業として継続してまいります。



●安全に関する訓練及び講座事業

「救命講座」

参加者:31名

令和5年12月15日(金)「救命講座・90分入門コース」を実施しました。講師として宮崎市南消防署隊員1名、宮崎市女性消防団員5名の方々にご協力いただきました。10代から80代まで幅広い世代の方々熱心に受講され、心肺蘇生法やAEDの取扱いなどを動画や実践講習を交えて学びました。突然のケガや病気の際に、救急車が到着するまでにそばに居合わせた人が、適切な応急手当をすることで助かる命があります。来年度以降も継続して開催予定です。皆様の参加をお待ちしております。



「防災施設研修バスツアー」

参加者:26名



令和5年11月10日(金)、防災意識の向上を目的に「防災施設研修バスツアー」を実施しました。最初の「宮崎県防災救急航空センター」では、実際の救助や消火活動の映像を使った座学と、救急防災ヘリ「あおぞら」の機材を使用した救助体験も行いました。次の訪問先「宮崎空港ビル」では「平時の地域づくりの取組が、有事の地域防災につながる」をテーマにした活動報告と、津波救命艇への乗船体験及び説明を受けました。最後は、「ひなた宮崎県総合運動公園」です。津波から公園利用者の安全を確保するために建設した避難高台を見学しました。2万3000人余りが避難でき、水や防寒用具等の備蓄倉庫も設置してありました。関係者様のご協力により有意義な研修となりました。

文化部会

「赤江の歴史案内」事業



佐土原城下と鉄肥城下を行き来した鉄肥街道が通った「両国橋」の案内板を設置しました。昨年度から検討を重ねて2年越しの設置となりました。今年度はまた「松井神社」の案内板の貼り替えも行いました。旧案内板は一部文字が読めなくなっており、赤江のまちづくりに修繕の要望が出されたことから、同神社の管理者である宮崎市南部土地改良区と赤江まちづくりとの連名での設置となりました。お近くに行かれた折はぜひご覧ください。

赤江まちづくりでは、これまでに8基の案内板を設置したところです。他にも設置したいところがあればお知らせください。



松井神社



両国橋

●あかえ寺子屋事業

「二胡と茶の湯」



令和5年11月11日(土) 参加者:69名

今年は「五感で楽しむ中国と日本の文化のコラボ」と称し、二胡演奏者 野津原光代さんとピアノ伴奏の土田悦子さんを招きました。

コロナ感染5類移行によって参加者の人数制限がなくなり、コロナ禍前までの定員50名を超える申し込みがありました。

二胡のゆったりとした音色が会場となった宝泉寺本堂の雰囲気とマッチして感動的でした。中盤には参加者も一緒に演奏を楽しんでいた様子、子供から大人まで笑顔になる演奏会でした。

参加者からは「二胡のイメージがしっとりだったけど、先生の明るさでイメージが変わり、音色とポップな曲が楽しめた」「毎回、お茶の先生のお話が勉強になり、お茶とお菓子も大変おいしかった」「ふだん入る事のないお寺の中も見れて良かった」「久しぶりに声を出して歌った。楽しかった」など、満足のお声をいただきました。

また、宮日新聞にも「二胡の音色とお茶楽しむ」という記事を掲載していただきました。来年度の「音楽と茶の湯」もぜひご期待ください。



つなごう部会

「花でつなごう西田橋」事業

参加者：265名
(R6.2月現在)



今年度は、赤江東中近くにある「西田橋」の花壇を地域の皆様や学生の方と一緒に花でいっぱいにしようという「花でつなごう西田橋」事業を新たに始動しました。

春(5月)と冬(12月)の2回植栽を行い、夏の暑い時期は月2回、寒い時期は月1回の花の水やり、草取りなどの管理を地域住民の方や中学生、高校生のボランティアを募り、一緒に協力して作業を行ってきました。花壇は幅が40cmぐらいですが、長さが25m~27mの長さのものが4カ所あります。橋の上なので風も強く、水やりにも非常に苦労しました。ですが、多くのボランティアの皆さんが一生懸命手入れをしてくださった結果、散歩やウォーキングをする方から「きれいですね!」というお声をいただけるようになりました。また、地域の方との交流にもなりました。

来年度も引き続き継続していきますので、花選び・花の管理等も含めみんなで試行錯誤しながら、広めていきたいと考えています。地域の皆様からもお知恵をいただけたら有難いです。



みんなの部会

「熱気球から地域を眺めよう」事業

令和5年11月19日(日) 宮崎南小学校 (61名参加)
令和5年12月16日(土) 赤江小学校 (46名参加)
令和6年 1月21日(日) 恒久小学校 (53名参加)



小学6年生を対象とした熱気球の搭乗体験を予定していましたが、今年は3校とも雨天や強風のため、熱気球の係留飛行が中止になりました。その代わりに体育館で熱気球が飛び仕組みなどを学んだあと、気球をインフレーター(エンジン動力の扇風機)で膨らませ、ドーム状になった内側に入って友だちや親子で記念写真を撮ったりしていただきました。さらに児童は、熱気球のスポンサー企業である「ガスパル九州」による防災クイズに答えたり、炊き出しステーションで調理したフライドポテトとポップコーンの振る舞いを受けたりしました。参加した親子からは、とても貴重な経験になったと感想をいただきました。

来年度も実施予定ですので新6年生のみなさんお楽しみに!!

協力：宮崎大学気球部



環境部会

「みんなで学ぼう!ECO学習」事業

参加者：30名

環境部会では令和5年10月11日(水)地域住民も対象に「エコグリーンプラザみやざき」「萩の台公園」「宮崎市上下水道施設・宮崎処理場」の3カ所環境施設の現地見学を実施しました。

貸切バスを利用し赤江地域センターを出発。

各施設では担当係員から施設の歴史、概要、処理能力等詳しく説明を受けました。参加された皆様からは、ごみの減量化、ごみの分別による作業効率の向上、環境保全の管理、水質管理上の問題点、上下水道の役割など日頃気かけないことを学習できた等満足いただきました。

今後もこのような研修を環境部会として実施して参りたいと考えています。



広報部会

「カレンダーを作るう」事業

令和5年10月28日(土) 審査会



カレンダーに掲載する赤江の風景写真を募集したところ、95点の作品が集まりました。プロの写真家2名と県立高校写真部の先生2名に審査員になっていただき、「残したい赤江の風景」の入賞作品を決定しました。夏空の田園風景を走る鉄道、シャッターチャンスを狙う高校生、神社そして人や文化など赤江の特徴が表現されたカレンダーに仕上がりました。カレンダーは各自治会や郵便局、学校、病院などにご協力いただき、約1000枚配布しました。来年度も実施予定なので四季の写真を撮りためておいてくださいね。

う高校生、神社そして人や文化など赤江の特徴が表現されたカレンダーに仕上がりました。カレンダーは各自治会や郵便局、学校、病院などにご協力いただき、約1000枚配布しました。来年度も実施予定なので四季の写真を撮りためておいてくださいね。



「地域掲示板設置」事業

皆様は「赤江まちづくり掲示板」をご存じですか?

赤江地域まちづくり推進委員会の事業内容や活動、各自治会や地域団体の行事などを広報するために設置しています。

令和4年度までに22カ所の自治会に設置しましたが、今年度は「南新町自治会」「働馬寄自治会」の希望で新たに2基設置しました。これで、赤江地域の24自治会に掲示板が出来ました。ご近所に掲示板がある方、散歩やウォーキングなどの途中で見かけた方は、ぜひ一度じっくり掲示板をご覧ください。

また「うちの自治会にもぜひ掲示板を設置してほしい!」といった希望がありましたら、赤江まちづくり事務局までご連絡ください。お待ちしております!



南新町自治会



働馬寄自治会

まちづくり会員募集中!!

あなたの趣味や特技が活かせるかもしれません。興味のある方は、赤江まちづくり事務局までお気軽にご連絡ください。



赤江地域まちづくり推進委員会事務局

〒880-0911 大字田吉5730-3

電話(FAX) 51-5122(平日9:00~16:00)

✉ akae5730@miyazaki-catv.ne.jp ▶



自治会に加入しましょう